

児童発達支援ガイドラインによる自己評価について

2023年 1月
るんるんキッズハート

児童発達支援の質の向上と支援内容の適正化を図る為、
児童発達支援に基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率：職員100%（12名/12名）

《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	職員配置は適切ではあるが、時々あと1人人手があれば、より充実した支援ができると感じることもある。 生活空間は、清潔で過ごしやすい環境を保てるように配慮している。	子どもの人数や、介助の必要性の見極めをして職員配置を行う。 毎日の清掃や消毒の実施を継続する。
業務改善	利用児童1人ひとりの目標設定・振り返りの実施。月に1度スタッフ会議にて、イベントの立案や日々の支援方法の確認・提案を行っている。年に1度自己評価・保護者評価を行い、HPにて公開している。	月1度のスタッフ会議の継続、毎日のスタッフミーティングの実施をする。日々業務の報連相の徹底を心がける。
適切な支援の提供	保護者面談・スタッフ会議を実施した上で、計画書の作成・更新を行っている。活動プログラムが固定化しないよう、立案者を月毎に変えている。 支援開始前、支援終了後に打ち合わせ・振り返りを行い、支援内容の確認・気づいた点等の共有をし、サービスの維持向上に繋げている。	児童との関わりの中で些細な変化に気づき、職員間で話し合い共有をしていく。
関係機関や保護者との連携	他機関と電話や文書にて、定期的なモニタリングの実施。自事業所での児童の様子や、他機関での様子の共有を図っている。 頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、共通理解を図っている。	引き続き相談員や他機関との情報共有・連携を図る。連絡帳や送迎引き渡し時に保護者様との情報共有を行う。
保護者への説明責任等	連絡帳やLINE、送迎時のやり取りにて、相談や申し入れについて迅速な対応を心がけている。 毎月るんるん新聞・HP動画の作成と配布、HPへの掲載をし、活動概要や行事予定を発信している。	毎利用時の連絡帳の活用や、送迎引き渡し時の保護者様との会話、電話やLINEでの連絡を引き続き実施していく。新聞や動画の作成・発信も継続して行う。
非常時等の対応	虐待・緊急時・感染症等のマニュアルの策定、定期的な研修・チェックリストの実施を行っている。 ヤリハット・アクシデント報告書の作成・共有をし、改善・再発防止に努めている。	事業所にて災害時に備え、年2回の避難訓練の実施を継続する。